平成３１年度　学校安全総合支援事業（概略）

平成３１年3月
保健体育課

領　域	学校安全に係る連携	防　　災		交　通　安　全	生　活　安　全
事業内容	**学校安全に係る学校間の連携の推進・支援**	**学校防災アドバイザー派遣**	**災害ボランティア活動**	**スケアードストレイト教育技法を活用した交通安全教室**	**地域安全マップづくり**
概　要	先進的な安全教育実践校から中核教員を招聘、及び、中核教員を先進的な安全教育実践校へ派遣。 	学校防災アドバイザーを派遣し、防災に関する指導・助言を行う。 	実践校が企画・立案した被災地でのボランティア活動を支援。 	スタントマンによる交通事故状況の再現により、事故の悲惨さを実感し、安全確認等の励行や危険運転の自制を促す。 	「地域安全マップづくり」に簡易に取り組む為の「作成支援ツール」を実践校に配布し、推進・支援を図る。
対　象	府立2校、2市町村、私立１校	府立10校、4市町村、私立１校	府立・私立学校の高校生 （府立3校、私立1校）	小学校5年生以上 （府立4校、2市町村、私立１校）	小中学校 府立、市町村立、私立学校のうち４校
実施期間	令和元年7月~12月	令和元年7月~12月 のべ3回（2時間/回）	令和元年７月~11月中旬	令和元年10月～12月	令和元年7月~12月
拠点校・モデル地域選定	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。	保健体育課及び私学課が選定。	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。	●保健体育課及び私学課が選定。 ●各市町村は学校園を指定可。
経費等	拠点校・市町村の負担なし。	拠点校・市町村の負担なし。	拠点校・市町村の負担なし。	拠点校・市町村の負担なし。	●「作成支援ツール」各校10セットを実践校へ進呈。 ●パソコンやデジタルカメラ等の備品及び紙やインク等の消耗品は実践校負担。
選定時期	令和元年5月仮決定・6月本決定（予定）	令和元年5月仮決定・6月本決定（予定）	令和元年5月仮決定・6月本決定（予定）	令和元年5月仮決定・6月本決定（予定）	令和元年5月仮決定・6月本決定（予定）
その他条件等	●決定校には別途、詳細な計画書の提出を依頼する。 ●説明会を実施。 ●教職員２名・１泊　以内。 ●経費(16万円未満/校)は保健体育課及び私学課が負担。	●指導助言内容 ・避難訓練 ・「学校安全計画や危険等発生時対処要領」の見直し　など ●当該市町村教育委員会はアドバイザー適任者を府教育庁に推薦することができる。	●決定校には別途、詳細な計画書の提出を依頼する。 ●災害ボランティア活動と現地高校生や被災者等との交流が必須。 ●事務手続きは説明会を実施。 ●生徒6名・引率1名・3泊　以内。 ●経費(75万円未満/校)は保健体育課及び私学課が負担。	●地元警察署と連携して実施する。 ●近隣学校や地域と連携しての実施が必須。 ●グラウンド等でスタント用車・自転車の走行、雨天時に備えて体育館にて自転車の走行が可能であること。 ●夕刻に実施の場合は、事前に要相談。	●進呈する「作成支援ツール」の内容 ・ＧＰＳ受信機 ・ＩＣ音声レコーダー ・接続機器 ・実践の手引き